

## 橙札 20 枚(あいうえお順)

上の句	下の句
あけ ぬればくるものとはしりながら	なほうらめしきあさぼらけかな
あさぼらけう じのかはぎりたえだえに	あらわれわたるせぜのあじろぎ
あはれ ともいふべきひとはおもほえて	みのいたづらになりぬべきかな
あひ みてののちのところにくらぶれば	むかしはものをおもはざりけり
あふこ とのたえてしなくばなかなか	ひとをもみをもうらみざらまし
あらざ らむこのよのほかのおもひでに	いまひとたびのあふこともがな
いまこ むといひしばかりにながつきの	ありあけのつきをまちいでつるかな
いまは ただおもひたえなむとばかりを	ひとづてならでいふよしもがな
おほけ なくうきよのたみにおほふかな	わがたつそまにすみぞめのそで
かぜそ よぐならのおがはのゆふぐれに	みそぎそなつのしるしなりける
せ をはやみいはにせかるるたきがはの	われてもす糸にあはむとぞおもふ
なげき つつひとりぬるよのあくるまは	いかにひさしきものとかはしる
なにし おはばあふさかやまのさねかつら	ひとにしられでくるよしもがな
なにはえ のあしのかりねのひとよゆ糸	みをつくしてやこひわたるべき
なにはが たみじかきあしのふしのまも	あはでこのよをすぐしてよとや
はるの よのゆめばかりなるたまくらに	かひなくたたむなこそをしけれ
ひとも をしひともうらめしあぢきなく	よをおもふゆ糸にもものおもふみは
みかき もり糸じのたくひのよるはもえて	ひるはきえつつものをこそおもへ
みかの はらわきてながるるいづみかは	いつみきとてかこひしかるらむ
みせ ばやなをじまのあまのそでだにも	ぬれにぞぬれしいろはかはらず